

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R2決算額	交付金 充当額	効果
1	小規模事業者緊急 経営支援助成事業	売上高等が著しく大幅に減少し、企業活動に支障が生じている事業者に対して、緊急支援として助成金を交付することで経営の安定・持続化を図る。	R2.4.28	R2.7.31	4,000,000	4,000,000	町内の飲食業事業者に3,000千円(500千円×6事業者、300千円×2事業者)並びに観光業事業者(400千円×1事業者)を助成し、新型コロナウイルス感染症流行下における経営安定を図ることができた。
2	中小企業等事業継 続支援助成事業	売上が前年同月比(令和2年2月から5月までのいずれかの月)で30%以上減少している事業者に対して助成金を交付し、経営の安定・持続化を図る。	R2.4.1	R3.3.31	4,000,000	4,000,000	町内に事務所又は事業所を有する中小企業者及び個人事業者に合計4,000千円(100千円×40事業者)を新型コロナウイルス感染症流行下における経営安定を図ることができた。
3	購買促進プレミアム 商品券事業	商工会加盟店舗の利用・購買を促進させるために、プレミアム率20%の商品券を追加で発行し、地域経済の活性化・消費喚起を図る。	R2.6.4	R2.12.31	6,000,000	6,000,000	新型コロナウイルス感染症流行下において購買意欲が低下する中、プレミアム分2,000円を上乗せした商品券を3,000冊発行したことで消費喚起が図られ、地域経済の活性化につながることができた。
4	移動スーパー等によ る地域の生活支援 事業	町内の買い物困難者を支援し、あわせて高齢者や単身世帯の見守りの役割も担う移動スーパー等の事業に対し必要な経費の一部を支援する。	R2.7.20	R3.3.31	2,731,738	2,731,000	事業を実施する(有)ウシロ・サービスの移動販売事業に対し、町で移動販売冷凍車を購入し、無償貸与した。定期の移動スーパーを実施することができ、買い物困難者の支援につながることができた。
5	保育所感染症拡大 防止対策整備事業	感染予防を目的に空調設備を設置し、保育園児及び職員の感染症対策の強化と安心できる居場所づくりを進める。	R2.7.21	R3.3.31	1,034,000	1,034,000	剣淵町保育所遊戯室にエアコン3台を設置し、適正な温度管理ができ、スムーズな換気に取り組むことができた。
6	学童保育所感染症 拡大防止対策整備 事業	感染予防を目的に空調設備を設置し、児童及び職員の感染症対策の強化と安心できる居場所づくりを進める。	R2.7.21	R3.3.31	1,023,000	1,023,000	剣淵町学童保育所ホールにエアコン3台を設置したことで、適正な温度管理ができ、スムーズな換気に取り組むことができた。
7	高齢者・弱者世帯等 緊急生活支援事業	感染症予防のため、予防品・資材購入及び生活費等の負担増に対して生活支援を実施する。	R2.6.19	R3.3.31	3,456,090	3,456,000	町民税が非課税である高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯合計320世帯に商品券10,000円分、また、生活保護世帯14世帯に商品券8,000円分を支援したことで、新型コロナウイルス感染症対策用消耗品(マスク・消毒液外)購入支援につながることができた。
8	指定(福祉)避難所 の衛生環境及び防 災環境整備事業	避難所である保健センター内の設備改修を進めることで、避難生活での感染機会の削減、感染症蔓延防止のほか、避難所機能の向上を図る。	R2.7.21	R3.3.31	2,090,000	2,090,000	指定避難所である健康福祉総合センターに手洗自動蛇口を2カ所、トイレ洋式化を2カ所、多目的トイレおむつ交換台を1台それぞれ設置することができ、避難所の機能向上及び新型コロナウイルス感染拡大防止機能を整備することができた。
9	剣淵町国民健康保 険剣淵町立診療所 特別会計繰出金	医療機関の感染症拡散防止対策を進めるため、感染対策が講じられる設備への更新等を進め、地域住民への安全・安心な医療を提供できる環境づくりを進める。	R2.7.21	R3.3.31	4,817,824	4,817,000	町立診療所の手洗自動蛇口を10カ所、トイレ洋式化を2カ所、空調設備(エアコン)を待合室・調理室・デイサービス合計3カ所、殺菌スリッパロッカーを1台、抗菌スリッパを116足購入することができ、医療機関における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための環境整備を図ることができた。
10	町立小中学校感染 症防止対策事業	感染症対策の資材を購入し、児童・生徒及び教職員の安全・安心な教育環境の確保を図る。	R2.4.1	R2.7.31	83,251	83,000	小学校にマスク・消毒液・石けん、中学校に消毒液・ハンドジェル・フェイスシールドを購入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
11	町立小中学校臨時 休校学習支援事業	臨時休校に伴う家庭学習に必要な教材を作成等し、受けるべき教育(学び)の確保を図る。	R2.4.1	R2.5.31	196,727	196,000	新型コロナウイルス感染症の流行により、小学校・中学校が臨時休校となったときに、課題を印刷、郵便することができ、教育確保を図ることができた。
12	町立小中学校GIGA スクール構想支援事 業	臨時休校期間中の切れ目ない学習環境等を確保するため、児童・生徒用の端末を用意することで、学習環境の整備と教育(学び)の充実を図る。	R2.9.15	R3.3.31	4,139,080	4,139,000	新型コロナウイルス感染症の流行により休校となった際にも、家庭学習・オンライン学習を行うために、小学校に117台、中学校に97台のタブレット(chrome book)を導入することができた。
13	剣淵高等学校(町 立)感染症防止対策 事業	感染症対策の資材を購入し、生徒及び教職員の安全・安心な教育環境の確保を図る。	R2.4.1	R2.7.31	155,386	155,000	高校にハンドソープ・手袋・アルコール等を購入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R2決算額	交付金 充当額	効果
14	福祉施設等感染症 防止必需物品供給 事業	福祉施設、保育所及び学校内の感染症対策の資 材を提供し、高齢者や乳幼児、児童・生徒等の感 染リスクの軽減を図るとともに、注意喚起を促す。	R2.5.15	R2.10.31	1,517,890	1,517,000	マスク大人用(50枚入り325箱)、子供用(50枚入り80箱)を購 入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができ た。
15	災害・感染症対策資 材等整備事業	感染症をはじめとする災害・感染等の対応をすべ く、避難所の衛生環境の保持及び感染症発症者 の屋外での隔離・分別への対応、これら感染症防 止対策に必要な資材や、各対応用装備・備蓄品 等を整備して、感染機会の削減、拡散の最小化と ともに、避難所利用者への影響の低減化を図る。	R2.4.1	R3.3.31	4,064,032	4,060,000	感染症防護対策キット、マスク、フェイスガード、防護服、ヘ ヤーキャップ、ハンドソープ、長靴、ビブス、感染症防護対策 キット、ワンタッチテント、発電機、トレイルヘッドコット、間仕切 りスペース、マンホールトイレ、防災専用テント等を購入し、新 型コロナウイルス感染症流行下の中でも、適切な災害対策に 備えることができた。
16	災害・感染症対策に 係る通信環境構築・ 感染拡大防止整備 事業	迅速な対応や正確な情報収集のため、関係機関・ 団体等との通信環境を整備する。さらに安全・安 心で衛生環境が確保された公共的空間を提供す るため、公共施設(避難所)の空調設備設置、トイ レの洋式化への改修等を実施し、災害時の正確 な状況把握や通信環境の確保、感染症拡大防止 対策を実施する。	R2.7.6	R3.3.31	6,683,200	6,683,000	避難所である町民センター大集会室に空調設備(エアコン) 2ヵ所及び町民センタートイレ洋式化を2ヵ所実施したことで、 新型コロナウイルス感染症流行下の中でも、適切な災害対策 に備えることができたとともに、新型コロナウイルス感染症流行 下における移動制限の中、オンライン会議のための機器(T V, WEBカメラ)を整備したことで、新型コロナウイルス感染症 拡大防止を図ることができた。
17	第三セクター(温泉 宿泊)施設厨房設備 衛生環境等整備事 業	感染症の拡大で、影響を大きく受けた第三セク ター(温泉宿泊)の営業再開等に伴う施設内の厨 房設備の清掃、修繕及び機器の更新を通して衛 生上の管理、利便性の向上を図りつつ、感染症の 予防を進める。	R2.8.26	R3.3.31	2,564,760	2,564,000	剣淵温泉レークサイド桜岡の食堂再開のため、厨房清掃を行 い、調理機器(ガスレンジ・テーブル)を整備したことで、新型 コロナウイルス感染症流行下の中でも安心安全に配慮した営 業を行うことができた。
18	第三セクター(温泉 宿泊)施設感染症防 止整備事業	災害時の地域の避難所を支える当該施設の有効 活用を図るため、合わせて施設利用者の感染機 会の削減、感染症の蔓延防止を進める。	R2.9.15	R3.3.31	2,255,000	2,255,000	剣淵温泉レークサイド桜岡の1階男子トイレ2ヵ所及び2階女 子トイレ1ヵ所を洋式化し、新型コロナウイルス感染症流行時 における安心利用及び避難所機能の強化につなげることが できた。
19	第三セクター(道の 駅)施設空間有効活 用・維持管理持続化 事業	主体施設と農産物直売所間の空間を有効活用を 進めるため、施設利用者の感染のない空間づく りを進めるとともに、円滑な維持管理を図る。	R2.9.15	R3.3.31	1,727,000	1,727,000	けんぶち道の駅の本体施設と農産物直売所の間に屋根テン ト設備・投光照明・給水及び供電設備・床面インターロック ングを整備し、新型コロナウイルス感染症流行時における安心 安全利用を図ることができた。
20	第三セクター事業継 続・維持等応援事業	全国的に感染症の拡大による影響は、著しく各事 業部門への影響を与え、各事業部門が継続・維持 等できるよう応援することによって、貴重な地域雇 用の場及び地場産業の確保等を図る。	R2.9.10	R3.3.31	40,000,000	40,000,000	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた株式会社 レークサイド桜岡に事業継続のため、40,000千円を助成し、 運営安定化に寄与することができた。
21	地域の魅力の磨き 上げ・観光振興(フォ トコンテスト)事業	感染症の収束後、町(地域)への誘客を促す地域 資源・素材の収集を通して、地域の観光促進の一 助としてフォトコンテストを実施する。	R2.6.19	R3.3.31	390,000	390,000	新型コロナウイルス感染症流行下における観光事業が伸び 悩む中、剣淵観光協会がフォトコンテストを実施し、観光促 進・地域の魅力発信につなげることができた。
22	地域農業生産力向 上に係る農作業機 械・機具購入等支援 事業	基幹産業の農業は、高齢化とともに担い手不足が 顕著に表れているなか、農業振興対策を進めるこ とによって、一定の影響を抑えることができるこ から、新たなロボット技術等を取り入れ、担い手対 策とともに、農業生産の向上等を図る。	R2.9.25	R3.3.31	7,395,000	7,395,000	継続的な担い手対策及び省力化を図ることを目的に、農作業 機械(農業用ドローン、GPS付作業機、自動巻上機等)購入 費用及びドローン免許資格取得費用の一部を助成した。 ・農作業機械(農業用ドローン、GPS付作業機、自動巻上機 等)購入費用助成 合計44名 ・ドローン免許資格取得助成 合計8名 助成合計 7,395千円

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R2決算額	交付金 充当額	効果
23	指定(福祉)避難所の防災・通信環境等整備事業	感染対策を強化すべく設備等の改修を通して、感染・災害時やむを得ず避難の地域住民(弱者、高齢者、身体的障害のある者等)への感染防止の観点、感染症発症の疑いのある者の収容区分けを明確化し、これに沿う改修計画を通じた設備等の機能変更・強化を進め、合わせて通信環境の増強を図り、避難生活での感染機会の削減、拡散防止とともに、指定(福祉)避難所としての機能を高める。	R2.8.26	R3.3.31	9,200,400	9,200,000	指定避難所である健康福祉総合センターの自動火災報知設備改修、防火・防災シャッター改修、wi-fi強化整備、加湿空気清浄機設置、多目的トイレ用ベビーチェア設置、裏玄関風除室設置、施設西口舗装整備を実施し、避難所の機能向上及び新型コロナウイルス感染拡大防止機能を整備することができた。
24	高齢者寮安心生活環境・保持整備事業	快適な生活空間の改善等を通じ、感染リスクの高い高齢者の日常生活の改善を図り、安心して暮らせる生活環境の保持を進める。	R2.9.15	R3.3.31	12,056,000	12,056,000	高齢者福祉寮の浴室内改修、居室内内窓取替及び外壁改修を実施し、高齢者に配慮した新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図ることができた。
25	福祉施設・事業所への感染予防・安全安心対策支援事業	町内の福祉施設・事業所が、感染症に対応した新しい生活様式を取り入れ、その施設等を利用する者の生活環境の改善等を進める社会福祉施設・事業所に対し、感染対策に係る経費の一部を支援することで、施設等の利用者の安全・安心な利用環境の確保を図る。	R2.8.31	R3.3.31	4,540,000	4,540,000	町内の福祉施設及び事業所合計5事業所に新型コロナウイルス感染症対策に係る経費の一部4,540千円を支援することにより、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
26	剣淵町国民健康保険剣淵町立診療所特別会計繰出(感染症拡散防止強化事業)	医療機関の感染症の拡散防止対策を行うことで、地域住民の安全・安心な医療を受けられる環境づくりを進める。	R2.9.15	R3.3.31	2,349,930	2,349,000	町立診療所の手洗自動蛇口(多目的トイレ・調理室・検査室・東側出入りロイトイレ)4ヵ所、トイレ洋式化(男子及び女子各1ヵ所)合計2ヵ所、空気清浄機1台、コードレス電話器・子機付1台を整備し、医療機関における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための環境整備を図ることができた。
27	町立小中学校校内感染症予防・拡大防止用資材等整備事業	学校内での感染症の予防をより進めるため、必要な資材を購入し、児童・生徒及び教職員の感染機会の削減、拡散の最小化を図る。	R2.8.31	R3.3.31	539,717	539,000	小学校にマスク・消毒液・石けん・パルスオキシメーター・加湿器フィルター・非接触型体温計、中学校にアルコールジェル・ペーパータオル・ハンドソープ・除菌シート等を購入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
28	学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業)	感染症対策等を徹底するため、授業時の熱中症対策とともに、教室内の十分な換気等を進め、感染症等の予防を図る。	R2.8.25	R3.3.31	875,336	468,000	小学校に扇風機7台及び網戸一式を設置、中学校に扇風機5台及び網戸一式を設置し、学校内における新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
29	町立小中学校GIGAスクール端末導入事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る児童・生徒1人1台タブレット端末の導入を実現し、ひとり一人公正に、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境づくりを進める。	R2.9.15	R3.3.31	11,464,420	4,832,000	新型コロナウイルス感染症の流行により休校となった際にも、家庭学習・オンライン学習を行うために、小学校に117台、中学校に97台のタブレット(chrome book)を導入することができた。
30	学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業)	国が進めるGIGAスクール構想に係る児童・生徒1人1台タブレット端末の導入を推し進めるため、オンライン授業等を補完する機器を備え、GIGAスクール構想の実現を図る。	R2.10.12	R3.3.31	5,451,719	5,406,000	新型コロナウイルス感染症の流行により休校となった際にも、家庭学習・オンライン学習を行うために、タブレット導入と同時に、WEBカメラ、60型ディスプレイ各9台、タブレット充電保管庫小学校7台、中学校4台を導入することができた。
31	町立小中学校学習保障等支援(GIGAスクール構想・ネットワーク環境整備)事業	国が進めるGIGAスクール構想を推し進めるため、学校内の情報通信ネットワークの環境等を整備し、GIGAスクール構想の実現を図る。	R2.9.24	R3.3.31	14,377,000	14,377,000	新型コロナウイルス感染症の流行により休校となった際にも、家庭学習・オンライン学習を行うために、学校内のネットワーク環境整備等を行い、GIGAスクールの推進につなげることができた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R2決算額	交付金 充当額	効果
32	町立小学校感染症 予防・学習環境整備 事業	感染症対策を徹底するため、普通教室外での学 びの場の確保とともに、感染状況等によつての分 散した学習を推し進め、安全・安心な教育環境づく りを進める。	R2.10.12	R3.3.31	3,706,714	3,706,000	新型コロナウイルス感染症流行下においても、安心安全な学 習の場の確保のため、タブレット等の機材を余裕を持って活 用できる学習机を106セット導入し、教育環境の向上につなげ ることができた。
33	学校給食関連事業 者支援事業	臨時休校等により影響を受けた学校給食食材納 入業者に対して、費用の一部を支援し、学校給食 事業の維持等を図る。	R2.4.1	R2.12.31	69,650	69,000	当町の学校給食パンを納入する業者が、新型コロナウイルス 感染症流行による臨時休業により、多大な影響を受けたこと から、パン加工賃の費用を助成し、学校給食の維持につなげ ることができた。
34	学校保健特別対策 事業費補助金(学校 再開に伴う感染症対 策・学習保障等に係 る支援事業)	今後の感染症拡大を見据え、国が進めるGIGAス クール構想を参考に、オンライン学習等を取り入 れた学習環境を整備し、安全・安心な教育環境づ くりを進める。	R2.10.12	R3.3.31	3,750,000	2,376,000	新型コロナウイルス感染症の流行により休校となった際にも、 家庭学習・オンライン学習を行うために、高等学校にタブレッ ト端末(chrome book)22台、電子黒板3台、モニター6台を導 入し、GIGAスクールの推進につなげることができた。
35	学校保健特別対策 事業費補助金(学校 再開に伴う感染症対 策・学習保障等に係 る支援事業)	感染症対策等を徹底するため、授業時の熱中症 対策とともに、教室内の十分な換気等を進め、感 染症等の予防を図る。	R2.10.19	R3.3.31	252,560	126,000	高等学校に扇風機10台を設置し、学校内における新型コロ ナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
36	災害・感染症対策強 化整備事業	感染症対策に対応した災害時避難所の運営マ ニュアルの策定とともに、関連の地域防災計画を 改定し、災害・感染症対策に必要な資機材等を整 備することで、地域内の災害・感染症対策力をより 強固なものとなる。	R2.8.24	R3.3.31	11,438,206	11,438,000	新型コロナウイルス感染症流行時・また、災害時避難所の運 営に係るマニュアルを整備したことで、具体的な行動方法等 を共有することができた。また、マニュアルの中で必要とされ た防災食、パーテーション、サーモグラフィカメラ、ホワイト ボードを整備し、プラグインハイブリット車を1台導入したこと で、災害感染症対策を強固にすることができた。
37	緊急時対応感染症 拡大防止用資材等 整備事業	感染症など避難所の衛生環境を保持するため、 感染症の拡大防止対策に必要な資材を購入し、 感染症対策を進め、拡散の最小化を図る。	R2.8.21	R3.3.31	1,023,543	1,023,000	アルコール除菌、マスクペダルボックス、汚物入れ、ポンプボ トル、フェイスシールド、非接触型体温計、ペーパータオル等 を購入し、新型コロナウイルス感染症流行下の中でも、適切 なコロナ対策に備えることができた。
38	地域公共交通維持・ 確保応援事業	各事業や分野では感染症の拡大による影響を著 しく受けるなか、地域公共交通を担う路線バスは 通常運行するものの、利用者の利用が著し減り、 本町のような高齢者の多い過疎地域にとって重要 な交通手段であることから、継続・維持等できるよ う応援することで、地域住民の生活において必要 不可欠な路線バスの維持及び公共交通機関とし ての役割の確保を図る。	R2.12.18	R3.3.31	3,000,000	3,000,000	町内を運行する路線バス事業者である道北バス株式会社に 3,000千円を助成したことで、新型コロナウイルス感染症流行 による利用者数の大幅な減少の中でも、継続して運行するこ とができた。
39	非デジタル情報対応 に係る機器整備事 業	光ファイバー網未整備地区を大きく抱え、また高 齢者・高齢の世帯が多い本町では、電子メールや HP等の閲覧やこれを使用する高齢者が極めて少 なく、新型の感染症や緊急時の災害情報等をいち 早く伝達するためには、本町においては従来型の 紙ベースは重要な情報発信の手段であることか ら、機能の高い機器を用いて、迅速の対応を図る べき体制づくり(対策本部等)とともに、すばや い情報の発信(啓発等)により、地域住民への安心 の確保を図る。	R2.9.15	R3.3.31	4,818,000	4,818,000	高齢者が多い当町において、紙での周知は情報を適切に伝 えることができる発信手段であり、高速印刷機1台を導入し、 新型コロナウイルス感染症情報等を的確に伝えることができ た。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R2決算額	効果	
						交付金 充当額	
40	公共施設(役場庁舎)衛生環境・防災対応整備事業	避難所と併設する役場庁舎内のトイレ改修及び障害者等が利用する多目的トイレの改修を進めることで、併設の避難所機能を補完するとともに、当該施設への分散避難が容易となり、避難生活での感染機会の削減、感染症の蔓延防止を図ることができる。	R2.10.12	R3.3.31	6,974,000	6,974,000	避難所と併設する役場にお年寄りから子どもまでが安心して利用できる多目的トイレを整備し、1階トイレ3台、2階トイレ3台を洋式化したことで、新型コロナウイルス感染症流行下の中でも、適切な防災対策に備えることができた。
41	公共施設(役場庁舎等)安全対策整備事業	避難所となる町民センターと役場庁舎を繋げる主要出入口の階段部・スロープ等の補修とともに、夏場の熱吸収を高める、雨水の浸透を高める、子どもや高齢者、障がい者等の転倒(ケガ)防止機能を高めるなど、安全安心な施設環境を整える。	R2.9.15	R3.3.31	6,787,000	6,787,000	避難所である町民センター及び併設する役場の入り口等を舗装にすることができ、新型コロナウイルス感染症流行時、また、災害時等における安心安全な場所を確保することができた。
42	公共施設(役場庁舎)空間確保・情報保護環境整備事業	窓口対応時の感染予防を強化するため、安全な空間、一定の距離を保てるよう改善することで、庁舎内等の拡散を防ぐとともに、かつ個人情報の漏洩を抑える窓口業務の改善を図る。	R2.10.30	R3.3.31	8,470,000	8,470,000	町民が一番多く訪れる1階住民課に、感染防止を強化したカウンターを導入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
43	公共施設(役場庁舎)事務室内空間確保整備事業	62㎡の事務室(教育委員会事務局・職員数13人)に勤務する職員の常態的な過密状況のなかで、職員間の安全・安心な間隔・距離が取れず、感染症の予防の観点から、安全・安心して業務が行える空間確保を図る。	R2.9.15	R3.3.31	1,408,000	1,408,000	狭い空間の中で業務を遂行していた教育委員会事務室を、壁を取り除き、空間を広げたことで、教育委員会職員及び教育委員会を訪れる町民の新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
44	無線システム普及支援事業費等補助金(高度無線環境整備推進事業)	新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、新たな日常に必要な情報通信基盤の整備を進め、教育ICT環境の実現、スマート農業等の推進を図る。	R2.9.17	R4.11.11	345,784,000	92,209,000	令和4年11月に整備工事が完了し、町内全域で光回線サービスを利用できる環境が整備されたことで、ICT/IoTの利活用の促進、新型コロナウイルス感染症流行下における在宅ワークの推進等が図られた。
45	中小企業等経営持続化助成事業	新型コロナウイルス感染症の拡大に起因して、売上が前年同月比(令和2年6月から12月までのいずれかの月)で25%以上減少している事業者(開業後1年未満は、開業から令和2年5月までの任意の月と、令和2年6月から12月までのいずれかの月との比較)に対して助成金を交付し、経営の安定継続・持続化を図る。	R2.12.21	R3.3.31	10,500,000	10,500,000	町内に事務所又は事業所を有する中小企業者及び個人事業者39事業者に総額10,500千円を助成したことで、新型コロナウイルス感染症流行下における経営持続化につなげることができた。
46	飲食業への感染予防資材提供事業	町内で飲食業を営む事業者は、感染症拡大の影響を大きく受け、店の利用者減が続くなかで、継続的に感染症予防に対応した経営が強いられる状況下、感染症対策の資材を一部提供(支援)し、利用者の利用環境の確保とともに、感染リスクの軽減を図る。	R2.12.23	R3.3.31	192,960	192,000	飛沫防止アクリルパーテーション72セットを購入し、飲食業を営む事業者に配布したことで、新型コロナウイルス感染症流行下における飲食店の安心安全な空間の確保に寄与することができた。
合計					569,353,133	307,178,000	